

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	岩手医科大学医療専門学校
設置者名	学校法人岩手医科大学 理事長 小川 彰

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
歯科衛生専門課程	歯科衛生学科	夜・通信	260 時間	240 時間	
歯科技工専門課程	歯科技工学科	夜・通信	200 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考) 歯科技工学科は2019年4月募集停止、2020年3月をもって廃止予定					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバスとともにホームページへ掲載 https://www.iwate-iryo-dh.com/blank-7

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岩手医科大学医療専門学校
設置者名	学校法人岩手医科大学 理事長 小川 彰

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.iwate-med.ac.jp/education/information/h31/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(現職) 一般財団法人 理事長	2018.2.23 ～ 2021.2.22	担当する職務内容 人事関係
非常勤	(現職) 民間企業 取締役社長	2018.2.23 ～ 2021.2.22	担当する職務内容 総務関係
非常勤	(現職) 民間企業 代表取締役会長	2018.2.23 ～ 2021.2.22	担当する職務内容 財務関係
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岩手医科大学医療専門学校
設置者名	学校法人岩手医科大学 理事長 小川 彰

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教育理念、教育目標、「歯科衛生学教育コア・カリキュラム 2018 改訂版」に沿って、臨地・臨床実習を中心としたカリキュラムを策定している。授業計画(シラバス)は、12月～2月頃にかけて担当教員が作成し、授業内容、到達目標、成績評価の方法、教科書等を記載している。作成したシラバスは、年度始めの学年オリエンテーション時に配布し、内容を説明している。また、ホームページにおいて電子データを公開する。</p> <p>2019年度は、実務経験のある教員等による授業科目を掲示にて学生に周知している。専任教員は、歯科衛生士学校養成所指定規則に則り、全員が業務経験4年以上の歯科衛生士である。専門科目の多くは、岩手医科大学附属病院の医師・歯科医師・医療ソーシャルワーカー等が担当し、その実務経験を十分授業に活かしつつ実践的教育を行っている。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>学生へのシラバス配布(冊子体)、入手を希望する場合は本校事務室に連絡願います。ホームページでも公開 https://www.iwate-iryo-dh.com/blank-7</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>歯科衛生学科における学修成果については、学則および歯科衛生学科試験規程に則り、厳格かつ適正に評価を行っている。第1～第2学年は年2回(前期・後期)、第3学年は年1回の定期試験を厳正に実施し、実技、実習記録、小テスト、授業態度などを含めて総合的に評価している。試験日や評価の方法はシラバスに明記している。受験資格や合否基準等は歯科衛生学科試験規程において定め、学生全員に配布する学生要覧で周知を図っている。</p> <p>各科目の評点は100点を満点とし、100～80点(A)、79～70点(B)、69点～60点(C)、60点未満(D)とする。本試験、再試験とも60点以上を合格とするが、再試験の評点は60点とする。各科目の評点は事務室がとりまとめて資料を作成し、教員会議において進級判定及び卒業判定を行っている。C以上の評価を得た者は当該科目の所定の単位を付与される。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学生の学習意欲向上を図ること、教員の学習指導等に活用することを目的として、全履修科目における評価点数の平均点（年度単位）を客観的な指標としている。成績判定後は、学年担任から学生個々に成績を開示し、必要な指導と適切な助言を行っている。当該指標の設定については、学内に掲示するとともにシラバスとホームページへ掲載する。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学内掲示板での公表、ホームページでの公開 https://www.iwate-iryodh.com/blank-7</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>「人類福祉への貢献を基調とし、専門職業人として実践できる能力をもった人材を育成する」という教育理念のもと、歯科衛生士に必要な専門知識及び技術を修得し、以下の能力を身につけた人材を育成することを教育目標としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての人々に愛と誠意を持って共感でき、行動できる。 ・常に探求心を持ち続け自ら科学的に思考できる。 ・柔軟で弾力に富み、常に順応性を持って対応できる。 <p>卒業要件については、歯科衛生学科試験規程に「学則第 10 条に定める所定の課程を修了した者は、教員会議の議を経て学校長が卒業を認定する。」と定められている。また、学則に「第 10 条に定める課程を修了した者には卒業証書を授与する。前項により卒業した者には専門士（医療専門課程）の称号を授与する。」と定められている。卒業判定は、教員会議の議を経て、校長が認定する。卒業不可と判定された者は留年とする。</p> <p>学則と歯科衛生学科試験規程は、学生全員に配布する学生要覧に記載されており、ホームページでも公開する。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学生要覧への記載、ホームページでの公開 https://www.iwate-iryodh.com/blank-7</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	岩手医科大学医療専門学校
設置者名	学校法人岩手医科大学 理事長 小川 彰

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.iwate-med.ac.jp/education/information/h30-2/
収支計算書又は損益計算書	http://www.iwate-med.ac.jp/education/information/h30-2/
財産目録	http://www.iwate-med.ac.jp/education/information/h30-2/
事業報告書	http://www.iwate-med.ac.jp/education/information/h30-2/
監事による監査報告（書）	http://www.iwate-med.ac.jp/education/information/h30-2/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

< 歯科衛生学科 >

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		歯科衛生専門課程	歯科衛生学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2970 単位時間	1136 単位 時間	255 単位 時間	1579 単位 時間	単位 時間	単位 時間
			2970 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		99人	0人	5人	90人	95人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）教育理念、教育目標に掲げた人材を育成するために、教育課程を「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」「選択必修分野」の4つに分け、基礎から専門分野まで体系的かつ主体的に学習できるよう編成し、科目の特性に応じて、形式（講義・実習・演習）を設定している。医療系総合大学の系列校としての強みを活かし、臨地・臨床実習に重きをおいたカリキュラムを策定している。
成績評価の基準・方法
（概要）シラバスに、授業科目ごとに学修成果を評価するための基準を明示している。試験は、筆記、レポート提出、製作物の提出等、担当教員が適当と認めた方法により行う。評価は100～80点(A)、79～70点(B)、69点～60点(C)、60点未満(D)とする。
卒業・進級の認定基準
（概要）学期末に定期試験を行う。所定履修時間の2/3以上出席、各教科それぞれ60点以上得たものを合格とする。その学年に定められた試験に合格しなければ進級できない。所定の教育課程を修了した者は、教員会議の議を経て学校長が卒業を認定する。

学修支援等
(概要) 希望に応じて、個別指導・補習を行っている。臨床・臨地実習の際には、教員と受入先の施設指導者が密に連絡を取り合うことで、適切な助言を行っている。国家試験対策として、1年次から全国模試を受けさせ合格への意識を高めている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
31人 (100%)	0人 (0%)	31人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 歯科診療所、大学病院、一般病院			
(就職指導内容) 学生の目指す方向性を確認しながら、適性・能力にふさわしい職場を選択できるよう支援している。岩手県歯科医師会や歯学部同窓会の全面的バックアップがある。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 歯科衛生士国家試験の受験資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
100人	4人	4.0%
(中途退学の主な理由) 学業不振、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 習得度・理解度に合わせた補習および個別面談、三者面談		

2. 教育活動に係る情報

① 学科等の情報

< 歯科技工学科 >

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療分野	歯科技工専門課程	歯科技工学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2400 単位時間	110 単位 時間	単位 時間	1282 単位 時間	単位 時間	単位 時間
			(第2学年のみ) 1392 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
25人	7人	0人	3人	12人	15人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）教育理念に基づき、歯学の基礎から専門分野までをしっかりと学び、理解したうえで、歯科技工士に必要な知識と高度なスキルを習得できるようカリキュラムを編成している。第2学年は授業の90%を実習時間に充てている。
成績評価の基準・方法
（概要）シラバスに、授業科目ごとに学修成果を評価するための基準を明示している。試験は、筆記、レポート提出、製作物の提出等、担当教員が適当と認めた方法により行う。評価は100～80点(A)、79～70点(B)、69点～60点(C)、60点未満(D)とする。
卒業・進級の認定基準
（概要）学期末に定期試験を行う。所定履修時間の2/3以上出席、各教科それぞれ60点以上得たものを合格とする。その学年に定められた試験に合格しなければ進級できない。所定の教育課程を修了した者は、教員会議の議を経て学校長が卒業を認定する。
学修支援等
（概要）希望に応じて、個別指導・補習（実技を含む）を行っている。より実践的な技能・技術を習得させるため、関連企業の実務者による授業を行っている。国家試験対策として、全国模試を受けさせ合格への意識を高めている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	8人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 歯科技工所（ラボ）、歯科診療所			
(就職指導内容) 学生の目指す方向性を確認しながら、適性・能力にふさわしい職場を選択できるよう支援している。岩手県歯科医師会や歯学部同窓会の全面的バックアップがある。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 歯科技工士国家試験の受験資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由) 学業不振、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 習得度・理解度に合わせた補習および個別面談、三者面談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
歯科衛生学科	250,000 円	500,000 円	250,000 円	その他：実験実習費 (年間)
歯科技工学科	募集停止	550,000 円	300,000 円	その他：実験実習費 (年間)
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
歯科衛生学科特待生制度：第 2 学年及び第 3 学年の在学生のうち、学業人物ともに優秀な者、各学年 3 名以内。毎年度の予算の定めるところにより授業料の一部を免除する。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいて設定した評価項目・指標により、年 1 回、自己点検・自己評価を実施し、報告書をホームページ上で公表している。 ホームページアドレス https://www.iwate-iryo-dh.com/blank-7		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校が実施した自己評価の結果を基本として、学校外の関係者 (卒業生、保護者、職能団体、関係業界等) により構成された委員会が、教育理念、教育課程、進路・就職、学生募集などの項目について評価を行う。この取り組みを通じて、関係業界等と学校相互の課題やニーズを共有し、職業教育の質向上や学校運営の改善に活かしていく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学校関係者評価を確実に実施し、2020 年度からその結果を公表するために委員の選任を行う。		
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020 年度から評価を確実に公表する。 https://www.iwate-iryo-dh.com/blank-7		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.iwate-iryo-dh.com/
--